



かごしま 市民のひろば

2011年(平成23年)第**532**号

人とみどりが 輝くまち かごしま	
市の人口(推計)	
平成23年8月1日現在(前月比)	
人口総数	607,357人 (+195)
男	281,528人 (+88)
女	325,829人 (+107)
世帯数	269,292世帯 (+142)



本庁市民課でワンストップ窓口サービスがスタート

出生や婚姻などの届け出や転入、転出、転居などの届け出に伴って、必要となる国民健康保険や福祉関係などの手続きも一緒にできる「ワンストップ窓口サービス」が、10月3日から始まります。【8・9面に特集記事】

【目次】

- 市政総合……………2～4
 - ・市職員募集
 - ・外国人や市民のための相談窓口を開設します
- イベント・講座……5～7
 - ・市民生き生きスポ・レクフェスタ2011
 - ・地域公民館・サンエールかごしま後期講座
- 特集……………8・9
 - ワンストップ窓口サービスが始まります
- 暮らしのガイド……10・11
 - ・国民年金の付加保険料
 - ・かごしま環境未来館リユース・リサイクルショップの活用を
- 健康・福祉……………12・13
 - ・健康のための教室
 - ・AED(自動体外式除細動器)の無料貸し出し
- すこやか鹿児島っ子…14・15
 - ・子育て・知っ得情報
 - ・りぼんかんの講座・イベント

編集と発行

鹿児島市広報課
〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号
TEL.099-224-1111(市役所代表)
TEL.099-216-1133(広報課直通)
FAX.099-216-1134
Eメール
kouhou5@city.kagoshima.lg.jp

市民のひろばは点字版・音声テープ版も発行しています
配布を希望する人は広報課へ

ホームページ(携帯版同じ)

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

バーコードリーダー付きの携帯電話で、右の二次元コードを読み取るとアクセスできます



配布に関するお問い合わせ

南日本リビング新聞社
TEL.099-239-8124

市民とともに



鹿児島市長
森博幸

防災の日に思う

今月1日は防災の日です。大正12年9月1日に関東大震災が発生したことにならぬ、国民の防災意識を高め災害への備えを怠らないように制定されました。また、この日は立春から二百十日にあたり台風の襲来が多い日とされます。鹿児島は台風の通り道と言われ、これまで何度も大きな災害を経験してきました。近年、上陸は減っていますが、「天災は忘れた頃にやってくる」とも言われます。災害から遠ざかるほどその怖さを「忘れて」しまい、「備え」が不十分になりがちです。

東日本大震災の発生から半年が過ぎ、被災地は長い復興への途上にあります。私は市民の生命と財産を守るため、改めてあらゆる事態を想定した災害への備えと発生時の対策に万全を期す必要があると痛感しています。

また、桜島と共生する本市では火山活動にも注意を払わなければなりません。いつ起こるか分からない自然災害。市民、地域、行政が連携して備えと対策に取り組み、安心して安全に暮らせる防災都市を目指していきましょう。

1000万人目前! かごしま水族館

平成9年に開館したかごしま水族館の来館者が今年1000万人を達成する見込みです。「黒潮浪漫街道」をテーマに、南西諸島から鹿児島島の海の魚など約3万点を展示する、まさに「いお(魚)ワールド」です。当館自慢の黒潮大水槽の中を悠々と泳ぐ6代目のジンベエザメやエイ、カツオやマグロが群れをなして回遊する姿を、まるで海の中にいるような感覚で鑑賞することができます。



「いるかの時間」や「ラッコの時間」など、その生態を子どもから大人まで楽しく学べるイベントや企画展も人気です。さらに屋外の石造りの波止場跡を利用した水路に出て泳ぐ、自然な姿のイルカを間近に楽しむこともできます。

また、現在、企業や大学など産学官が連携して水族館の魅力を高める取り組みを各面から検討しています。

市民の皆さん、水族館で海の魅力を身近に感じてみてはいかがでしょうか。そして、私たちの大切な財産である豊かな海を一緒に守り育てていきましょう。

(大切なものは保存しておきましょう)